

第271回教員会議・第170回研究科委員会 議事要録

日時：平成30年8月29日（水）13：30～16：05

場所：後援募金記念棟 会議室1-2

議事に先立ち、研究振興課の産学官連携教員より、URAの紹介と科研費セミナー（9月5日開催）の案内があった。

議題

◆教員会議◆

[審議事項]

1. 学類長

(1) 教員の昇任について

今年度の昇任が可能な1名の候補者の選定にあたり、学類人事委員会での議論の概要が報告された。回収資料に基づき、被選考者と教員資格調査委員会を設置する提案がなされ、了承された。

(2) 教員資格調査委員会の設置について

教員資格調査委員を選出する投票が行なわれ、投票総数37、有効票数：被選考者の属する専攻（人間支援システム専攻）選出について36・他専攻から選出について37で、調査委員4名が選出された。今回選出された4名のほか、被選考者が属する学系（生命・環境学系）から、学系長の推薦に基づき学類長が1名を指名する。

2. 教務委員会

(1) 平成30年度非常勤講師計画について

資料1に基づき、非常勤講師計画が説明され、了承された。

(2) 非正規生（研究生）の受入れについて

資料2に基づき研究生の受入れが提案され、了承された。

(3) 学芸員資格に関する合意について

資料3に基づき学芸員資格を取得できるように検討する提案がなされ、コース制移行準備チームより補足説明があった。取得が可能となるよう、詳細な検討を進めていくことが了承された。

3. 財務・施設委員会

(1) 教育設備維持運営経費について

資料4に基づき、教育設備維持運営経費の経緯や課題が説明され、今後の予算作成や執行の方向性について提案された。方向性について了承され、更に具体化させていくこととした。意見や提案は財務・施設委員長に寄せるよう、要請があった。

4. 共通教育委員会

(1) 基盤教育の分担及び内容について（継続審議）

資料5に基づき状況の説明があり、平成31年度の開講数のみ確定させ、授業担当者の選出を始めるという提案があり、了承された。

キャリア教育・夜間主での講義・学類の基礎科目などの負担も考慮して、基盤教育の担当者を決定して欲しいという要望があった。また、旧カリ学生の対応について遺漏がないよう、教育改革WGに伝えることとした。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 研究室配属希望結果について

資料6により結果が報告された。配属希望届の未提出者が18名いたことが、併せ

て報告された。

(2) 転学類・転専攻の結果について

資料7により、転学類・転専攻の希望者がなかったことが報告された。

(3) 第184回教務協議会について

(報告事項)

・平成31年度授業日程(案)について

資料8に基づき、複数の平成31年度の授業日程(案)が説明された。5月1日に予定されている即位の儀による休日増への対応が必要であり、検討継続中である。

・公認心理師対応科目の取り扱いについて

資料9により説明された。本学類は平成31年度入学生から適用となる。

・平成31年度以降の学習案内の電子データ化について

資料10により電子データ化の方針について説明された。

2. 財務・施設委員会

(1) 停電故障への対応や対策について

共通設備の故障対応等で費用を要している状況が報告され、資料11により停電で故障した装置の修理を実施する(した)ことが報告された。

(2) 実験室の責任者について

資料12に基づき、連絡や調整を担当するため、共通で使用している実験室に責任者を設けたことが報告された。

(3) プロジェクト室等の空き室活用について

資料13により現在の部屋の使用状況が報告され、空いている部屋をミーティングルームとして活用することが報告された。

3. 奨学寄附金等の受入れについて

資料が投影され、共同研究1件・受託研究3件・奨学寄附金1件・受託事業1件の受入れが報告された。

◆研究科委員会◆

[審議事項]

1. 教務委員会

(1) 平成30年度修士博士論文・最終試験の日程について

資料14により日程が提案され、了承された。

(2) 非正規生(研究生)の受入れについて

資料15により研究生の受入れが提案され、了承された。

2. 入学試験委員会

(1) 平成30年度10月期及び平成31年度4月期入学大学院入試合否判定について

回収資料に基づき、博士前期課程10月期入学1名・高専推薦4月期入学1名・一般4月期入学35名、博士後期課程2名を合格とすることを決定した。

博士前期課程合格者は男性33名・女性4名であること、博士後期課程は共生機械システム領域所属予定であることなど、情報提供があった。

[報告事項]

1. 入学試験委員会

(1) 平成31年度共生システム理工学研究科(博士前期課程・博士後期課程)第2次学生募集の実施について

資料16に基づき、11月24日(土)を試験日とする2次募集を実施することが報告され、協力が要請された。

- (2) 平成31年度共生システム理工学研究科環境放射能学専攻（修士課程）学生募集について
資料17に基づき、10月14日（日）を試験日とする募集を行うことが報告された。

◆教育研究評議会◆

○第305回（7月17日開催）報告

[報告事項]

- (1) 新たな教員評価マニュアルについて
教員評価マニュアルが提示され、29年度の実績を用いて評価を試行することが報告された。9月末を締め切りとする試行用の評価シートの提出が要請された。
- (2) 教育改革の進展について
教育推進機構を発足させる等、教育改革の進展について報告された。
- (3) 平成30年度監事監査計画について
監査スケジュールが示された。

○第306回（8月21日開催）報告

[報告事項]

- (1) 福島市と福島大学農学群食農学類（仮称）との連携協力に関する基本協定について
協定の一部修正を行なって、締結した。
- (2) 伊達市と福島大学農学群食農学類（仮称）との連携協力に関する基本協定について
協定を締結した。
- (3) 平成30年度科学研究費助成事業採択状況について
採択状況について報告され、各種データが提示された。
- (4) 平成31年度概算要求について
概算要求について報告された。
- (5) 学生募集促進等のための「学類長裁量経費」の追加配分について
大学院の定員未充足解消のため、各学類に50万円が配分される。定員未充足が解消されないことにより翌年度に返却する可能性が高いが、今年度のために有効に使う計画である。
- (6) 共生システム理工学研究科環境放射能学専攻の事前伺いの結果等について
文科省に「報告」が受理され、設置が決定した。
- (7) 金沢大学自然科学研究科と環境放射能研究所との連携に関する協定の締結について
協定が締結された。

◆運営会議◆

○第110回（7月10日開催）報告

- (1) 全学委員会の見直し提案について
食農学類新設に伴う委員総数の増加を防ぎ、運営に関する負担を軽減・平準化するため、委員会の見直しを行なっている。平成31年1月には決定する予定である。
- (2) エネルギー消費原単位の悪化状況について
原単位が悪化していることが報告され、省エネが要請された。
- (3) 廃棄物の処分について
安全・適切に処分されるよう、規則等を見直している。
- (4) 2021（平成33）年度入試対応について → 前回の教員会議で報告済み

(5) その他

- ① 科研費セミナーの開催について
参加が要請された。

○第111回（7月24日開催）報告

- (1) 高校訪問第二波（県外高校訪問）の見直しについて
訪問先を決定した。
- (2) 福島市産官学連携プラットフォーム構築と包括的な連携に関する協定の締結について
協定を締結した。
- (3) その他
- ① 6月の電気・ガス・水道の使用量について
使用量のデータが示された。ただし、研究実験棟のデータに誤りがある。

○第112回（8月28日開催）報告

- (1) 各学類教員会議のペーパーレス化について
ペーパーレス化が検討されている。
- (2) 環境報告書2018（案）について
環境報告書が作成された。
- (3) 平成30年度内部監査基本計画について
監査計画が提示された。
- (4) オープンキャンパス2018について
来場者数などが提示された。
- (5) その他
- ① 平成30年度高等学校と福島大学との研究協議会について
9月27日に開催する研究協議会の概要が示された。
- ② 高校訪問第二波（県外高校訪問）について
訪問先やスケジュールが示された。
- ③ 7月の電気・ガス・水道の使用量について
使用量のデータが示され、前回の資料の修正が説明された。